

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
共通教育科目	102	1年	後期	看護学科	必修	愛媛の文化 Culture of Ehime	15	1
担当教員								
高木 泰伸*								
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
<p>学生が、主体的に愛媛の産業や文化を学び、自らが暮らす地域の特色とそれを育んだ歴史的風土について理解を深め、「ふるさとらしさ」や「愛媛らしさ」を発見していき、地域文化を探る幅広い視野と豊かな感性を身に付ける。</p>								
到達目標（授業目標）								
<p>学生が、愛媛の歴史文化に対する理解を深め、地域の特色を掴むための方法（インタビュー、写真、文献読解など）と情報整理、それを他者へ伝える方法（プレゼン、作文）を知り、学生自らが実践できるようになることを目標とする。</p>								
授業計画（項目・内容与方法・担当者）								
回								
1回	「ふるさと」とは何か、「地域性」とは何か：現代における「ふるさと」の意味するもの、また「県民性」「地域性」について考えながら「愛媛の文化」「愛媛らしさ」とは何かを再考する。							
2回	愛媛の農林水産業：愛媛の瀬戸内海地域および南予地域の農林水産業の特色について知り、山野河海と愛媛の人びとがどのように関わってきたかの歴史の変遷を学ぶ。							

備考	グループ発表は10分程度のプレゼンを行う。レポートは授業を通じて学生自身が発見した「愛媛らしさ」「県民性」を個々人がまとめるものとする。授業への取り組みの積極性は、授業出席、グループワーク時の態度によって評価する。
----	---